

岩舟地域包括支援センター 担当

✚ 日 時： 令和6年5月15日（水）午後1時30分～1時55分

✚ 会 場： 栃木市役所岩舟総合支所

✚ 事例数： 1ケース（令和5年5月17日検討した事例の振り返り）

✚ 参加者数： 10名

〔 事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名 〕

心疾患と癌の既往があり、健康や転倒への不安から 自宅内生活になっている 85 歳女性

〈目標〉1日：しっかり歩けるように、毎日のテレビ体操と週2回のリハビリを続ける。
1年：しっかり歩けるようになって、実家がある富山県に行き、墓参り後に
温泉に泊まりたい。

利用サービス：福祉用具貸与

《前回会議での支援策》

支援方針：本人の希望である浴槽に入れるような働きかけを実施し、成功体験を積んで次のステップにつながるよう支援する。

- ①「運動強度と禁忌事項の基準」を参考に、呼吸困難や動悸等の自覚症状を確認しながらリハビリを実施する。
- ②口腔機能維持のため、毎日の食事の中で栄養バランスを考え、歯ごたえのあるものを少し小さめの食塊にしてゆっくり食べる。新聞記事などを音読したり、舌の体操を実施する。
- ③内服薬の副作用のチェックとして血液検査結果の確認、脱水予防のため、水分の適切な摂取をする。
- ④スムーズな体重移動動作が行えるようハムストリングスストレッチや骨盤傾斜運動などを実施する。
- ⑤安全に浴槽に入れるよう、浴槽とシャワーチェアの高さを合わせたり、入浴ボードを活用する。
- ⑥塩分摂取を控えるため、調味料はかけるではなくつける。丼ものは、ご飯と具を別々のお皿に盛り付ける。
- ⑦ふれあい在宅サービスや傾聴ボランティアの活用、身体障害者福祉会連合会活動への参加を通して QOL の向上を目指す。

《支援結果・状況》

- ①～⑦達成：・医療的管理と R5 年 11 月からのデイケアのリハビリ（運動機能向上プログラムや口腔栄養スクリーニング）により、運動や活動量が増加し、歩行能力の改善が見られた。浮腫は軽減し、福祉用具貸与により日常生活動作は維持出来ている。身体面の機能向上に加え、同年代との交流を持つことで、運動への意欲と活動範囲の向上が見られるようになった。
- ・夜間の排泄行為については、健康面や転倒予防のためにポータブルトイレを購入したが、羞恥心・プライドなどもあり使用には至っていない。

今後：医療的管理、減塩と脱水予防の継続、夜間排泄に対する考えについて家族も含めて話し合う。